

テーマは
江川太郎左衛門
英龍(坦庵)

国民文化祭 開催まであと二年

特集

国民文化祭とは、全国各地で行われている文化・芸術活動を全国的な規模で発表し、それらを鑑賞する場。全国から多くの「文化」や「人」が集まり、交流し、様々な出会いが楽しめる国内最大の文化イベントです。

昭和六十一年に第一回が東京都で開催され、以降毎年各道府県で開催されてきました。

第二十四回目は静岡県。平成二十一年十月二十四日(土)から十一月八日(日)の十六日間、県内各地で静岡ならではの文化イベントを開催します。



全国に発信します

坦庵の功績を

伊豆の国市では『江川太郎左衛門英龍(坦庵)』をテーマに
演劇・合唱・オペラ・歴史・文学・温泉
6つの事業を行います。

坦庵は一八〇一年、伊豆国田方郡の葦山屋敷で生まれました。剣術、槍術、馬術、砲術だけでなく、絵画や書、詩文、経書、測量術まで身に付けた教養人だったのです。

兄の病没後、葦山代官に就任し、太郎左衛門を襲名、号を坦庵と称しました。

代官としての坦庵は、自ら率先して質素儉約に努め、領民たちから「世直し江川大明神」と讃えられました。それほどばかりでなく、外国船の来航が相次ぐ緊迫した情勢の中で、江戸湾や伊豆半島の沿岸を守るための海防政策に、優れた手腕を発揮した人物でもありました。

伊豆の国の地域資源である幕末の代官、江川太郎左衛門英龍坦庵の功績に着目し、メインテーマとしてその偉大な功績を全国へ発信します。

江川太郎左衛門英龍(坦庵)
わたしはここがすごいと思う

座談会

伊豆の国市の歴史を訪れた人に語り聞かせる『歴史ガイド』さんたち。ときには自己流の解釈もちょっぴり加えて…。それは歴史が好きだから。伊豆の国市が大好きだから。



齋藤善久さん(中条)

歴史ガイドの会会長
小松逸夫さん(山木)



まつくらのがあき
松倉信明さん(南条)



そんな皆さんに『江川太郎左衛門英龍(坦庵)』わたしはここがすごいと思う』と題して、自由に語ってもらいました。

『坦庵のここがすごい、ここが魅力』をあなたも感じてください。

日本のレオナルド・ダ・ヴィンチ

小松 私は神戸出身ですが、勤めていた会社の福利厚生施設が『江川寮』という名前でした。これは、江川家は元々奈良県の出身で、江川家の屋敷であったものを、会社が買い取ったものです。なぜ『江川』というのか興味を持ち、調べると『江川家』の屋敷だったことが分かりました。縁あってこちらに越してきて、江川邸や江川坦庵公のことを詳しく知り、その不思議な縁を感じて、さらに興味を持ちました。

まず一言で言えば、坦庵公は『日本のレオナルド・ダ・ヴィンチ』だと思います。代官



江川英龍・画『甲州微行図』

坦庵・その一面
代官

江戸幕府の代官とは、幕府直属の地方行政官です。代官は、年貢の徴収などの他に、管轄下の村々の戸籍の管理や紛争処理、治安維持や罪人の処罰、村方への貸付金の運用など、行政・司法・警察・金融と、様々な業務をこなさなければなりません。

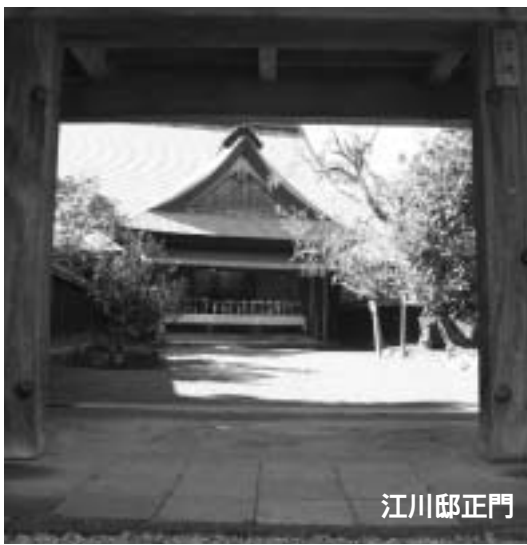
でありながら、海防、民政、書も書く、絵も描く、歌も詠む、またパン祖などとも後に言われるなど、その功績は本当に多岐にわたっています。

歴史ガイドをしていて、皆さんにまず、坦庵公は日本のレオナルド・ダ・ヴィンチなんです、と云うと、「ええ」と初めは驚かれますが、私がいる坦庵公のことを説明して、お帰りになるころには「本当にそうですね」と皆さん納得して帰られます。

坦庵公は、勇気と行動力のある人だと思います。実行に移す勇氣です。計画は緻密に、実行は大胆に、そして責任感があり、勇気と繊細さも併せ持った人です。五十四歳で亡くなったというのが、本当に惜しまれますね。あと十年生きていたら時代は相当変わっただでしょうね。

齋藤 電気も何も無い時代に、武蔵・相模・伊豆・駿河・甲斐の五カ国にまたがる広大な領地を統治していて、また葦山では自分の家に塾を開いて、多くの人に教育をしています。知れば知るほど、本当にすごい人です。

江川邸正門





葦山反射炉

人間性そのものがすごい

松倉 私は、坦庵公の功績は本当にすばらしいと思います。が、まず人間性そのものがすごいと思います。特に人との接し方です。坦庵公に砲術を教えた高島秋帆が、十年もの間囚われていた際にも、ずっと解放しよう奔走し、釈放された後には、すでに十年も経過しているので、砲術の知識などももう師である秋帆よりも坦庵公のほうが秀でていたはずなんです。しかし、先生はいつになっても先生だと敬った。砲術も葦山塾で多くの人に伝授していましたか

ら、もう高島流ではなくて、江川流ではないか、と言う人もいたが、「秋帆先生の恩を受けていない者はいない」とたしなめ、高島流の称を変えることはなかった。だから秋帆も生涯、坦庵公を慕い手伝い、坦庵公死後も、子孫の代官に恩を尽くしたといえます。強い友情を感じますね。

齋藤 坦庵公は質素儉約にいつも努めていました。代官というところ、テレビの影響か、おいしいものを食べて飲んで、いい着物を着て、威張り散らしているという悪代官のイメージがありますよね。でも坦庵公からはそんなイメージは一切湧いてこない。本当に質素な生活をしていました。

例えば、今も残っている行事『具足開き』。一般に『鏡開き』のことですが、今も江川家の当主が毎年開催しています。そのときに食べるものは、鏡餅を入れたお汁粉と…。

小松 田作(ゴマメ)が二、三匹と、沢庵を少し。あとお酒を少し。

松倉 それを今でも継承しているというのがすごいですよ。それに、こんなエピソードもあります。坦庵公の娘が手習いを始めるとき、家来が立派な硯箱を用意しました。

坦庵・その一面

海防

武蔵・相模・伊豆・駿河・甲斐の5カ国にまたがる幕府直轄領を管轄していた坦庵。外国船に対してどのようにして海岸線、とくに江戸湾を守るかについてトータルな海防構想を練り上げ、幕府に度々上申しました。

海防政策その一

西洋砲術の普及

海防政策その二

台場設計と築造

海防政策その三

反射炉建設

海防政策その四

農兵の採用

坦庵が考えた海防政策

西洋砲術の普及

台場設計と築造

反射炉建設

農兵の採用



それを見て、坦庵公はそんな贅沢を習慣づけることは、お嫁に行った先に非礼だと言ったんだそうです。それで、菓子箱に自分で梅の絵を描いて与えたそうです。そんなところにも坦庵公の常に相手を想う人柄が伺えます。それと『忍』の話は有名ですが、『忍』をさとされたという話ですね。

松倉 今の日本人は、私も含めてですが、『忍』なんてことは全然できませんよ。

齋藤 最近の子どもたち

には、『キレる』なんていう言葉がありますけど、今の子供には『忍』ということがとても必要だと思います。

松倉 『忍』ステッカーなんかを作って、市内で配るっていうのもいいんじゃないですか。まあとにかく、そんな質素儉約さ、割れた茶碗もつなぎ合わせて使っていたといいますし、そんなことを代官がしていたら、民衆もまねざるを得ないでしょうね。

齋藤 でもケチとは違うんですよ、必要なときにはお金をちゃんと使う。下田にイギリスの軍艦マリナー号が来たときに、下田奉行が、とりあえず鎖国中だから帰ってくれなんて言っても、身なりが貧相で、位を低く見られてとても相手にしてくれない。

松倉 そこで幕府は坦庵公に命じて、交渉に向わせました。そのとき越後屋、今の三越ですね、そこで大金を使って高価な蜀江の錦、今も江川邸に保存されていますが、それを着て、家来たちにも立派な衣装を着せて、行列を組んで下田に行ったそうです。それがあまりに豪華なんで、ごく身分の高い人が来たと思わせ、マリナー号を退去させたそうです。

その的確な判断力と行動力、本当にそんな人が五十四歳で死んでしまったというのが、とても惜しい。あと十年長く生きていたら、日本は変わっていたかもしれないんです。質素儉約をしすぎたせいなんじゃないか、なんて思っていますよ、もっと栄養のあるものを食べていけば、もっと長く生きてもいいかもしれません(笑)。

7 人生を無駄にしないで生きた人

齋藤 私は坦庵公の年表を見ていると、人生を無駄にしないで生きた人だなと思います。代官の仕事だけでも多忙なのに、海防にも力をいれ、幕府にもそれを上申し続けました。空いてる時間には絵や書も書いた。

松倉 江戸の屋敷まで三日で行ったって言いますからね。武蔵や相模のほうは江戸の役所で統治していました。何かあれば、すぐに江戸に行ったようです。歩きか馬か、船くらいしかない時代に。ぜひ皆さんに試していただきたいくらいですよ。

小松 百十キロくらいあるですよ、三十里ですよ！

年表 江川英龍(坦庵)と幕末の日本

- 一八〇一 父英毅、母久子の次男として葦山で誕生。
- 一八一八 江戸に出て、本格的な剣道を修業する。兄弟子齋藤弥九郎につき、二年後には免許皆伝となった。
- 一八二二 兄英虎が病死したため嫡子となる。
- 一八二三 旗本北条氏征の娘と婚姻。
- 一八二四 葦山代官職見習(江戸・本所屋敷)。
- 母久子病死。母から、早まる気持をおさえ、冷静な気持を常に持つように」と『忍』をさとされ、以後『忍』の文字を書き、懐中に携帯した。
- 一八三四 父英毅病死。
- 一八三五 葦山代官就任。江戸で高野長英、渡邊華山らの蘭学者の集い『尚歯会』が始まる。後に『尚歯会』に参画。
- 一八三七 大塩平八郎の乱後、剣友齋藤弥九郎と甲州微行に出て、民情をくわしく調べる。領内における善政に対し、民衆から『世直し大明神』といわれた。
- 米船モリソン号が浦賀に来航以来、川路聖謨らと、海外文明の進歩度合や非戦論を幕府に差し出す。
- 一八三九 鎖国維持派目付鳥居耀蔵の副官として、浦賀付近を測量。
- 一八四一 高島秋帆が江戸・徳丸原で砲術の実演をする。その後、高島流砲術を修める。
- 一八四二 葦山塾を開き、佐久間象山をはじめ、全国の多くの藩から入門者が訪れた。

- 一八四六 蘭、英、仏、露など、外国船がしきりに来航し開国を求められる。
- 一八四八 砲製造先進の佐賀藩主・鍋島直正と会う。以後、反射炉や洋式鑄砲の技術交流をした。
- 一八四九 幕命を受け英艦マリナー号を下田から退去させる。
- 一八五〇 実子に種痘をし成功。種痘接種を広める。農兵の必要性を上申。
- 一八五三 米国使節ペリー浦賀入国。幕府勅定吟味役格海防掛となる。品川台場築造の命を受け、設計、起工。高島秋帆を手代にし、ジョン万次郎を手附にする。反射炉築造の命を受ける。
- 一八五四 ペリー再来日。日米和親条約調印。下田、函館開港される。葦山に反射炉を築き始める。品川台場完成。デアアナ号座礁見分救助、新造船(ヘダ号)を戸田で着工。病勢が悪化するが、幕府より出府の命下り江戸へ。
- 一八五五 一月十六日本所にて死亡。本立寺に葬られる。子英敏が十六歳で代官を受ける。
- 一八五六 柏木総蔵を中心に鉄砲方、芝新銭座大小砲習練場、台場御用や大砲鑄造等の仕事が継承された。新銭座の習練場は黒田清隆、大山巖ら多くの人材を輩出した。
- 一八五八 反射炉による鉄製砲の試射に成功。
- 一八六二 英敏死亡。弟英武(三十八代)相続。最後の代官となった。

座談会

坦庵・その一面
文人

坦庵には書画や詩作を好む風雅な一面もありました。特に絵は、大國土重(円山応挙の弟子)を師として円山四条派の画風を本格的に学んでいて、後には独自の画境に達しました。



齋藤 山を越えて網代へ出て、網代から船で行くのが一番近かったよつです。松倉 坦庵公は自分でもそうやってよく動きまわりましたが、人を使うのも本当にうまかったです。ジョン万次郎も坦庵公専属の翻訳家兼外交顧問として登用されていますね。また、ずいぶん少ない人数でその五カ国を治めていたんですよ。齋藤 きつと市役所の職員の方皆さんも学ぶことがいっぱいあると思いますよ。

松倉 老中阿部正弘は、ずっと坦庵公に会ったことがなくて、一度会ったら「これはすごい人だ、国防の知識や考えもあるし、誠実だ」と言っていて、そこから取り立てたといえます。死ぬ前の二、三年だけですけど、でもそんな人って今いますか？その人の印象をがらりと変えてしまつて。もっと早くに会って取り立てて



品川の台場

くれれば、幕末もきつと変わっていたでしょうね。小松 大河ドラマ『篤姫』で、江川邸が撮影に使われましたが、老中阿部などに、「葦山の江川さんにちよつと意見聞いてみるか」なんてセリフを言わせてくれたらよかったのでは。島津斉彬が薩摩で大砲を設置したりしていたころには、坦庵公もそういうことをしていたのに、江川の『え』の字も出てこなかった。齋藤 東京の人が来て歴史ガイドをしているときも、お台場って意味が分からないんですよ。砲台を置く場所だから、お台場。そこからお台場っていうんですが、それを知らなくて、今フジテレビがあるところってことしか知らない。今は二つしか残っていないけど、もともとは六つあって、坦庵公が作ったってことも知らないんですよ。

坦庵公の知名度を上げたい

小松 私は歴史ガイドを始め七年前ですが、その経験から言うと、源頼朝、政子なんていうのはほぼ一〇〇%の人が知っています。ところが坦庵公を知っているという人は五%くらいでしょうか。反射炉を知っているという人を合わせても二〇%くらい。その違いは何かというところ、教科書に載っているかどうかということ。もうこれから教科書に載せて、というのは無理だとしても、知名度を少し上げていきたいんですよ。だからまず我々は、市民の方たちにも市内の史跡の場所

坦庵公は、

日本に大きな変革をもたらした動乱の幕末を生き、決して自分の信念を見失わず、広い視野を持ち、一年後に開催される国民文化祭は、全国に坦庵公をPRするチャンス。私たちは一人ひとりが宣伝マンです。まずはあなたが、坦庵公のすこさを実感してください。

一人ひとりが宣伝マン！ まずはプレフェスティバルに参加しよう

ステージ1 幕末タイムトラベル

『君は太郎左衛門を知ってるか!』

2008.10/26(日)

10:30~16:00

アクシスかつらぎ大ホール



屋外イベントエリア

10:30~

ステージイベント

模擬店

物産販売

限定パン販売

温泉まんじゅう
詰合せ販売

B級グルメ

その1 13:30~ 修善寺工業高校郷土芸能部

その2 13:45~ 幕末タイムトラベル

演劇&トーク『君は太郎左衛門を知ってるか!』

その3 15:30~

お楽しみ
抽選会

入場無料

要入場整理券
*お楽しみ抽選会の
抽選券になります

入場整理券は、
アクシスかつらぎと
葦山時代劇場で
好評配付中!

太郎左衛門の生誕から母の死、日米和親条約、ジョン万次郎との出会い、反射炉や品川お台場建造までを地元劇団が渾身の演技でドラマチックに仕立てます。皆さんを幕末の太郎左衛門の世界へ誘います!

出演
井沢元彦(歴史作家) 藤田弓子(女優)
望月良和(市長) 横田年昭(ジャズフルート奏者)
劇団いず夢 長岡演劇サークル劇団DAN
シアター万華鏡

ステージ2 あなたも演出家!

オペラキャスティング公開オーディション

2008.11/16(日)

葦山時代劇場

1部:入場無料

2部:1,000円
(全席自由)

1部 13:30~
『市民オペラ伊豆の国』公開オーディション

2部 16:00~
伊豆市民オペラ協会 創作オペラハイライト公演
新作オペラ『三百年姫』より『大峰賛歌』
オペラ『江川太郎左衛門~熱き心の火~』より

チケットは
アクシスかつらぎと
葦山時代劇場で
好評発売中!

入場無料

ステージ3

静岡県芸術祭合唱コンクール

2008.11/30(日)

アクシスかつらぎ

オープン参加部門と招待演奏部門の合唱
コンクール(ジュニア、一般、アンサンブル)。
約40団体が参加予定です。

審査員 松下耕先生(作曲家)
高柳勉先生(山梨県合唱連盟理事長)
武田雅博先生(合唱指揮者)

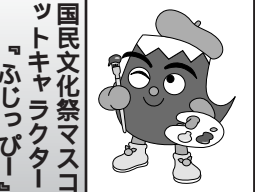
ホームページも続々更新中!

国民文化祭実行委員会では、伊豆の国市ホームページに、国民文化祭に関する最新情報を、随時公開しています。

国民文化祭

平成21年度開催

まずは、トップページ
このパナーをクリック!!



問合せ 第24回国民文化祭伊豆の国市実行委員会事務局(文化振興課アクシスかつらぎ内) 電話 055 948 0225